

今後の子育て支援全体の行方は 物価高騰、急激な保護者の費用負担を危惧

市長 シミュレーションと検証を進めていく

問 就学前の子育て保護者の費用負担の軽減は。

市長 保育所利用に係る副食費無償化、今年度から第2子以降の保育料無償化と在宅育児支援金を支給している。子育て世帯への直接的な経済的支援策とあわせて、保育士の処遇改善や保育所等に対する運営費補助等の間接的な取り組みで、就学前の子育て支援の充実を図っていく。

問 就学以降の子育て保護者の費用負担の軽減は。

市長 放課後児童クラブについて、利用料は全施設無料である。これは県内14市で、唯一の取り組みである。令和4年度の運営にかかる費用として、1億1741万6000円を支出している。

問 給食費は17年間値上げがない。市の負担の状況は。

教育長 学校給食法により、学校給食全体の経費のうち、食材の購入分を保護者が負担するものとなっている。

市の子育て支援策と国の地方創生臨時交付金の活用により、およそ2割を負担している。

問 今後の子育て支援全体の行方は。

市長 無駄の整理、出費の見直しで、学力向上やグローバルに育つ環境づくりを予算化してきた。市の財政バランスのシミュレーションを行い、しっかりと持続できる体制にしなければいけない。今後の事業の優先順位をみんなど考えなくては行かない。

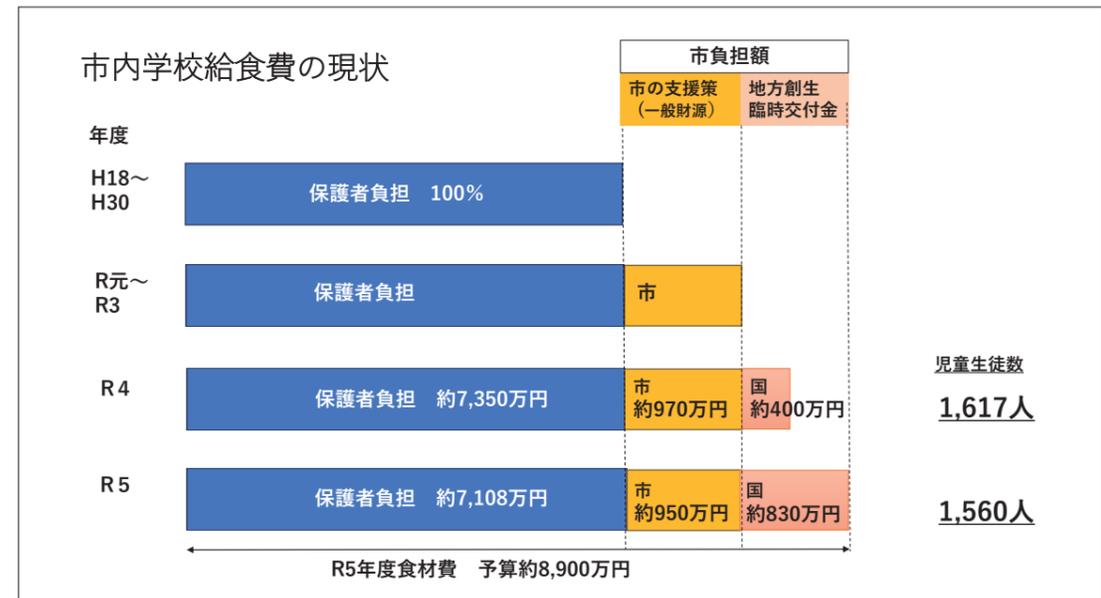
問 子育て支援のシミュレーションを早めに行い、市民の皆さんに開示して、急激な費用負担を危惧する保護者の不安軽減に努めるべきでは。

市長 急激な保護者の費用負担は予測していないが、全体的な環境やその他、財政と子育て支援に関する各シミュレーションと検証を進めていく。

解説

放課後児童クラブとは
主に共働き家庭等の小学生に遊びや生活の場を提供して、健全な育成を図る施設です。
一般的に「学童保育」と呼ばれている施設で、法律上の名称は「放課後児童健全育成事業」です。
遠野市では、小学校区全11カ所に児童館、児童クラブを設置し、放課後における児童の居場所環境の充実を図っています。

市内学校給食費の現状



どうなった？ あの提言

過去に定例会等で行った議会からの提言や要望が、その後どうなったのか、追跡を行う特集企画です。

消防団機関運用訓練の様子

答弁 行政区再編検討の中で、消防団との意見交換重ねたい。

団員が減少し、高齢化が進む中で、小さな拠点づくりの説明会においても市民から同様の意見をいただいた。
消防団再編準備委員会を組織し意見交換を重ねながら、他市町村の状況をふまえて検討している。

提言 消防団員の処遇改善を検討すべき

世代交代のためにも処遇の見直しが必要ではないか。国も見直しを進めているが、消防団に対し、予算の仕組み等十分な情報提供により報酬や処遇改善など納得のいく方向性を示すことが必要ではないか。
令和3年6月 定例会等

経過 消防団再編準備委員会での検討実施

市内行政区再編に伴う小さな拠点づくりを進める中で、消防団組織の再編に合わせて現場の意見を聴取している。
各町分団内の「部」再編ならびに消防団員の出勤報酬及び年額報酬について協議された。

結果 消防団員の出勤報酬及び年額報酬改定

消防団員の出勤手当に代わって出勤報酬制度を令和4年4月に創設した。
・火災、風水害等出勤報酬：1回4,000円（1時間ごとに1,000円加算）
・警戒活動、各行事、訓練：1回2,000円
消防団員の年額報酬を令和5年4月に改正した。
・団員報酬：年額36,500円（改正前23,100円から13,400円の増額）

ひとこと

消防団員の報酬や手当を引き上げていただいたことに感謝いたします。

遠野市民の安全、安心を守るため、日頃から火災予防や防災活動に取り組んでいる遠野市消防団に、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。



遠野市消防団 団長 阿部 和美 さん